



令和8年2月5日

後期学校評価アンケート 結果と分析

京都市立北総合支援学校中央分校

令和7年度 後期 学校評価アンケート にご協力いただき、ありがとうございました。

◇ 実施期間 令和8年1月13日（火）～1月20日（火）

◇ 対象者・回答率

	保護者			教職員	児童生徒		
	小	中	高		小	中	高
対象者数 (人)	33	23	42	79	33	23	42
	家庭数 97				98		
回答者数 (人)	65			74	0	1	4
					5		
回答率 (%)	67% ↑			93% ↑	0%	4.3%	9.5%
					5.1% ↓		

◇ 目的

本アンケートは、学校教育目標「自分から 自分で 自分らしく みんなとともに 学び合う子どもの育成」に基づき、具体化された①「めざす学校像」、②「めざす教職員像」について教職員・保護者を対象に、③「めざす子ども像」について児童生徒を対象に実施し、学校の現状と課題を把握することを目的としています。

◇ 分析・表示方法

- ・ 4つの選択肢（よくできている、大体できている、あまりできていない、できていない）の総数に対して、「よくできている」と「大体できている」を合わせた“肯定的な回答”の数値を%で表します。成果や課題を把握しやすいように、90%以上を水色（良い評価）、80%未満は赤色（良くない評価）、で表示し、教職員保護者間で比較したり、肯定的な回答が低い原因を分析します。
- ・ 前期より10%の増減があった数値については↑（増加）、↓（減少）をつけています

裏面に続く

◇ アンケート結果

【対象：教職員・保護者】

めざす学校・教職員像を達成するための重点項目	重点項目に合わせた設問	教職員	保護者
地域社会と協働・連携する社会に開かれた教育課程の充実	1. 地域との連携を活かした教育活動（例：体験活動・探究学習など）が行われている。	97%	95% ↑
	2. 保護者や地域社会との情報共有（広報活動・参観など）が適切に行われている。	99%	97%
	3. 地域資源を活用した学びが、児童生徒の主体性を育てている。	92%	89% ↑
	4. 地域との交流や協働活動が、児童生徒の社会性の育成につながっている。	96%	91%
未来社会を見据え、子どもの生きる力を育む授業の創造	5. 子どもが主体性を持って、仲間と関りを意識した授業が行われている。	97%	92%
	6. ICT を活用した効果的な授業が実施されている。	92%	89%
	7. 子ども一人ひとりの可能性を広げる学習活動が工夫されている。	95%	89%
	8. 現代的課題（防災・感染症など）への対応を含む教育活動が充実している。	81% ↑	86%
一人ひとりが持続可能な社会の担い手として、共生社会の形成に向けて取り組む	9. 教職員が協力し合い、働きがいを感じられる職場づくりが進められている。	93%	98%
	10. 教職員が人権意識を高く持ち、多様な価値観を認め合う姿勢を持っている。	93%	100%
	11. 保護者・福祉・医療・行政などとの連携体制が適切に構築されている。	92%	95%
	12. 地域支援と校内支援の一体化による支援体制が機能している。	85%	92%

◇分析 I

今回のアンケートでは、教職員・保護者ともに全体として高い評価が得られました。また、肯定的な良い評価の平均値が教職員 **92.7%** / 保護者 **92.8%** となり、それぞれのギャップがほぼなかったことから、教職員と保護者が同じ目線で学校を捉えられていることがわかり、嬉しい結果となりました。

学校教育目標「自分から 自分で 自分らしく みんなとともに 学びあう子どもの育成」を基にした学校の取組を今後も継続、発展させていきます。一方で、子どもの学びの成果の見え方や、現代的課題への備え、支援体制の運用など、さらに良くできる点も明らかになりました。これらを次の改善につなげていきます。以下各設問についてまとめました。

1～4（社会に開かれた教育課程）

地域と連携した体験や探究は概ね高評価で、情報共有もとても良好です。特に【3. 主体性～】は保護者 13%の増加となりました。前期に比べ、いちようフェス、参観日などで学校の様子をみていただく機会が増えたことや、児童生徒自身が学校や地域に慣れ、自信をもって自分の力を発揮できる

ようになったのではないかと思います。今後も、学習のねらいと「子どもの変化（主体性・社会性の伸び）」を、連絡帳、学校HPなども活用してわかりやすく伝え、保護者にも知ってもらう事で、学校と家庭の良いスパイラルを作っていきたいと思います。

5～7（授業の創造）

主体的・協働的な学びは良好ですが、ICTの活用が学びの深まりにどう結びついたか、また一人ひとりの可能性を広げる工夫がどこにあるかを、この機会に考える必要があります。授業冒頭に「何のために、何をするのか（学習課題）・どうなったら良いのか（達成基準）」をわかりやすく示したり、ICTを使った選べる学びや協働の場面を増やすことで、「学習の効果や質」、「活動の量や幅」、やる事がわかって「自分で動ける主体性」などICTを有効に活用し授業改善に活かします。

※ICT（インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジーの略）通信ネットワークを活用して情報の処理や共有を行う技術のことであり、学校ではiPadを情報収集や情報提示だけではなく、ビデオ通話で校外の人と交流したり、他者の意見を共有しています。すぐーる、フォームズなどもICTの一つです。

8（現代的課題への対応）

前期のアンケートでは防災に関する教職員評価が60%と、最も低い数値になっていましたが、12月に避難訓練を行ったこともあり21%の増加が見られました。しかしアンケート全体をみると教職員・保護者共に一番低い項目であり、災害時の不安が表れています。2月には地震を想定した避難訓練を行います。訓練の際はマニュアルカードを使い災害時に教職員がスムーズに行動できるよう訓練を行います。また、中央分校は各校舎にエレベーターが一機設置されていますが、万が一地震でエレベーターが動かなくなった場合どのように避難するのか、全体の避難訓練以外にも保護者の方と相談しておく必要があります。手順や役割の整理、訓練の頻度や質の見直し、避難の際の安全対策など、今後も改善を図ってまいります。

9～12（共生社会への取り組み）

働きがいのある職場づくり、人権意識の高さ、外部機関との連携についても高い数値がでました。一方で、人権についての項目の回答の中には「1、できていない」という回答があったことも事実です。自由記述欄にはこの内容について記載がありませんでしたので、具体的な内容はわかりませんが、少ないご意見でも感じておられる方がいるということを真摯に受け止め、人権意識の向上、相談できる関係作りを心掛け、誰かが辛い思いをしない環境作りを心がける必要があります。また、この項目以外の自由記述に児童生徒の呼び方について改善が必要であるというご意見がありました。おそらく児童生徒が馴染みのある呼び方であったり、関係性の中からニックネーム等で呼んだりしている場合があるのではないかと思います。第三者が見かけられた場合に、不快に思うことは改善すべきだと考えます。人権意識については職員全体に改めて周知し、誰もが気持ちよく過ごせる学校を目指します。

【対象：児童生徒】

めざす子ども像	めざす子ども像に合わせた設問	児童生徒
健やかな身体をつくる子ども	1. 学校で身体を動かす活動に楽しく参加している。	60%
	2. 食事や生活のリズムを大切にしている。	40%
	3. 健康や安全に気をつけて行動している。	60%
自分の思いをのびのびと表現する子ども	4. 自分の考えや気持ちを言葉や行動で伝えている。	60%
	5. 絵や作文、音楽や身体の動きなどで自分らしく表現している。	60%
	6. 自分の思いを大切にしながら、友だちの話も聞いている。	60%
他者を尊重し、かわり合いながら学ぶ子ども	7. 友だちの気持ちを考えて行動している。	60%
	8. 困っている人に声をかけたり、助けたりしている。	40%
	9. みんなで協力して活動することができている。	40%
自分のできることを発揮する子ども	10. 自分の得意なことや好きなことをがんばっている。	60%
	11. 授業や活動で、自分の役割をしっかりと果たしている。	60%
	12. 新しいことにもチャレンジしようとしている。	60%

◇分析2

まず始めに、分析2については、児童生徒の回答数が非常に低く、学部による偏りもあるため、中央分校の児童生徒全体の意見が反映されてはいません。（小学部0名、中学部1名、高等部4名）

また、回答することそのものが難しかったり、回答が本人の思いを正確に表せていなかったりしている場合もあります。アンケートという形式では回答が限られていることから、全体の意見を十分に反映するには至りませんでした。しかし、このことは、子どもたちの思いや願いを受け取るために、アンケートだけに頼らず、日々の関わりの中で丁寧に気持ちを読み取っていくことの大切さを改めて気付かせてくれるきっかけとなりました。今後は、児童生徒がより答えやすいアンケートの工夫を進めるとともに、表情や行動など日常の姿から感じ取れるサインを大切に、保護者の皆様からの声や家庭での様子も積極的に学校づくりに反映していきたいと考えています。子どもたち一人ひとりが安心して過ごし、自分らしく力を発揮できる環境をつくるため、教職員が連携しながら、これからもより良い支援のあり方を検討してまいります。